

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	32
都道府県名	島根県

・学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
島根県学力向上推進地域	285校 (25校)	109校 (15校)	394校 (40校)

・学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
松江地区協議会 (松江市、安来市、 美保関町、島根町、 鹿島町、八束町、 東出雲町、八雲村、 伯太町、広瀬町、 玉湯町、宍道町)	62校 (7校)	26校 (3校)	88校 (10校)
出雲地区協議会 (出雲市、平田市、 斐川町、大社町、 湖陵町、多伎町、 佐田町、三刀屋町、 加茂町、大東町、 木次町、仁多町、 横田町、吉田村、 掛合町、頓原町、 赤来町)	84校 (7校)	28校 (5校)	112校 (12校)
浜田地区協議会 (浜田市、大田市、 江津市、仁摩町、 温泉津町、邑智町、 大和村、川本町、 瑞穂町、石見町、 桜江町、羽須美村 旭町、金城町、 弥栄村、三隅町)	84校 (6校)	27校 (3校)	111校 (9校)
益田地区協議会 (益田市、美都町、 匹見町、日原町、 津和野町、柿木村、 六日市町)	36校 (3校)	19校 (2校)	55校 (5校)
西郷地区協議会 (西郷町、布施村、 五箇村、都万村、 西ノ島町、海士町、 知夫村)	19校 (2校)	9校 (2校)	28校 (4校)

・都道府県教育委員会としての支援策

(1) 地区別協議会に対して

各フロンティアスクールの実践研究計画及び実践状況について、適宜連絡。

各地の実践研究発表会の状況を適宜提供。

県の協議会の開催状況及び協議記録等について適宜提供。

各フロンティア校のフロンティアティーチャーの地区協議会への参加

(2) 域内の各小・中学（含学力向上フロンティアスクール）校に対して

管理職研修、教務主任研修、教職経験 11 年目研修等において学力向上フロンティア事業の取組状況について説明。

各地の実践研究発表会の状況を適宜提供。

(3) 実践研究の成果の普及の方法の構築

1 年次の学力向上フロンティアスクールの取組状況について冊子にまとめ、県内各学校に提供。

2 年次の学力向上フロンティアスクールの取組状況について冊子にまとめ、県内各学校に提供する予定。

・学力把握のための都道府県としての取組について

平成 15 年度に県単独による教育課程状況調査を実施

・ 調査の目的

島根県の市中村立小・中学校における教育課程の実施状況について、学習指導要領における目標や内容の定着状況の把握を通して、学習指導要領がめざす力が児童生徒にどの程度身に付いているかを客観的に把握するとともに、児童生徒への質問紙調査等を実施して、学習指導上の課題等を明らかにし、今後の学校における指導の改善に資する。

・ 調査対象教科、学年

小学校：第 6 学年：国語、社会、算数、理科、児童質問紙、教師質問紙

中学校：第 3 学年：国語、社会、数学、理科、英語、生徒質問紙、教師質問紙
(いずれも、児童生徒数の 20% 抽出)

・ 調査の時期、回数

平成 16 年 1 月中旬 1 回

・ 調査結果及びその活用

県全体の実施対象教科の各問ごとの通過率、解答類型、児童生徒質問紙調査、教師質問紙調査を分析する。分析結果を基にして学習指導上の成果や課題等を明らかにし、今後の学校における指導の改善に生かしていく。

・学力向上推進協議会について

(1) 開催時期及び参加対象

第1回 平成15年6月6日

(教育長会代表、フロンティアスクール代表、小学校長代表、中学校長代表、
県教育研究会代表、各教育事務所代表(指導主事)、義務教育課指導主事)

第2回 平成15年11月11日

(教育長会代表、フロンティアスクール代表、小学校長代表、中学校長代表、
県教育研究会代表、各教育事務所代表(指導主事)、義務教育課指導主事)

第3回 平成16年2月16日

(教育長会代表、フロンティアスクール代表、小学校長代表、中学校長代表、
県教育研究会代表、各教育事務所代表(指導主事)、義務教育課指導主事)

(2) 協議会の主な内容等

第1回

(趣旨)平成15年度島根県学力向上フロンティア事業推進に当たって

(主な協議内容)

学力向上フロンティア事業全国協議会報告(事務局)

管内の学力向上フロンティア事業の成果と課題(各事務所担当者)

島根県学力向上フロンティア事業の成果と課題(事務局)

取組状況とそれを踏まえた成果の普及(H14年度指定フロンティアスクール代表)
協議・意見交換

各フロンティアスクールの取組や実践研究の成果の普及・推進方法について

(協議会の中で報告された内容)

- ・「確かな学力」の捉え方は、各校で共通理解が図られている。
- ・今後、その育成のための効果的な工夫が望まれる。
- ・成果の普及について、各校で方法や範囲など工夫する。
- ・各校に新設されたフロンティアティーチャーの活躍に期待する。

第2回

(趣旨)学力向上フロンティアスクールの取組の実際について

(主な協議内容)

授業参観(5年2組 算数「面積の求め方を考えよう」:習熟度別)

三階小学校の取組についての説明(校長)

授業についての意見交換

各管内のフロンティアスクールの中から特色ある取組の紹介(各教育事務所代表)

特色ある取組についての意見交換

(協議会の中で報告された内容)

- ・習熟度別指導のあり方について・・・グループ分けの視点や留意点
- ・各校での取組について・・・具体化、焦点化

第3回

(趣旨)平成15年度鳥根県学力向上フロンティア事業の成果について

(主な協議内容)

平成15年度学力向上フロンティアスクールの特色ある取組事例の紹介

・乃木小学校、赤来中学校、仁摩小学校(松江、出雲、浜田教育事務所担当者)

管内の学力向上フロンティア事業の推進状況の報告(各事務所担当者)

・指定校の取組状況　・地区協議会の状況　・成果と課題

成果の普及・推進方法と今後の方向性(事務局)

鳥根県学力向上フロンティア事業のさらなる充実のために【協議】

・フロンティアスクールの取組　・県及び地区協議会のあり方

(協議会の中で報告された内容)

- ・「習熟度別指導」や「TT指導」等の「個に応じた指導」が「目的」ではなく、「子どもに確かな学力を育てる」ための、効果的な手段としての捉え方
- ・子どもの変容がつかめ、意欲の向上につながる、具体的で客観的な評価のあり方
- ・フロンティアティーチャーの役割の一層の明確化と中心的な活躍の推進
- ・成果の普及についての深まりと広がりを

・実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

事業評価の実施方法・内容

- ・各地区協議会での授業研究・協議等による成果の確認・評価
- ・実践事例等、報告書による成果の確認・評価
- ・推進協議会等での協議、授業参観等による成果の確認・評価
- ・地区協議会や、フロンティアスクール域内の保護者等からの意見収集による評価進捗状況(成果及び課題等)
- ・各地区協議会、県推進協議会では、各々が1回ずつフロンティアスクールにおいて協議会を開催し、その際に授業公開、授業参観を通じて成果を確認・評価した。
- ・年度はじめに、各フロンティアスクールの取組状況について計画書を求め、「指導形態等」「成果の評価方法」「普及・推進方法」などについて、取組の概要を一覧にまとめて各フロンティアスクールの参考とした。
- ・平成14年度の各フロンティアスクールの取組や成果について報告を冊子にまとめ、県内各校に提示した。
- ・平成15年度の各フロンティアスクールの取組や成果について、「特に各校の特色ある取組の具体的な事例」を報告を冊子にまとめ、県内各校に提示する予定。
- ・各地区協議会には、保護者の参加を求め、本事業に対する保護者の評価を得た。
- ・各フロンティアスクールの取組を、より客観的に評価していく必要がある。
- ・各フロンティアスクールの取組を、普及方法や普及対象を広げたり、他の学校でも取り組んでいくことができるような具体的な形に成果をまとめたりして普及・推進を図っていく。

【地区別協議会における特色ある取組】

地区内の学校に対する支援策

- ・地区協議会の開催に合わせ、各指定校のフロンティアティーチャーや地区内の学校の研究主任等に情報交換や研修の場を設定した。
(松江・出雲・浜田・益田・西郷地区協議会)
- ・公開授業に対する指導助言。(松江・出雲・浜田・益田・西郷地区協議会)
- ・学校訪問指導の実施。(松江・出雲・浜田・益田・西郷地区協議会)

実践研究の成果の普及方策

- ・学校訪問指導にあわせ、市町村教育研究会の教科部会、近隣の学校等へ呼びかけ授業公開を実施した。(松江・出雲・浜田・益田・西郷地区協議会)
- ・地区協議会を受けて、市郡の教頭会や教育委員会主催の教育フォーラムで、フロンティアスクールの取組を紹介する中で、学力向上について研修する場を設けた。
(出雲地区協議会)
- ・フロンティアスクールの発表会の分科会で、地区内のフロンティアティーチャーがコーディネーター役として参加し、情報交換を行った。(出雲地区協議会)